

調査検証
コース



夢みる尻屋埼灯台事業

コンソーシアム名：尻屋埼灯台活用協議会

対象灯台：尻屋埼灯台（青森県青森市）

調査検証報告

尻屋埼灯台（青森県青森市）

夢みる尻屋埼灯台事業

コンソーシアム名

尻屋埼灯台活用協議会

構成団体

東通村、尻屋観光協会、むつ市会津若松市姉妹都市推進連絡協議会、株式会社青森テレビ

1.調査・検証概要

調査検証を構想した背景

1. 東通村では近年、尻屋埼灯台にまつわる話題や取り組みが多い。

◎2022年12月、尻屋埼灯台は国の重要文化財に指定された。

◎2024年、ジオパーク全国大会がむつ市で開催。尻屋埼エリアは貴重なジオサイトとして全国的に注目を集めている。

◎2026年、尻屋埼灯台は点灯150周年を迎える。

◎2026年、東通村にて「灯台ワールドサミット」開催が決定。

2. 東通村は2024年度からの3か年計画で、尻屋埼に観光施設を設置する。

尻屋埼灯台の観光客数が年間10万人を超えていることや、コロナ収束による観光復活により、地元の人々が尻屋埼の観光活性化に意欲を持ち、村に「施設建設」を要望した。

3. 尻屋埼灯台に関する古い歴史を知る人たちが高齢化している。彼らの証言を保存することが急務である。

4. 2023年、むつ中学校の教員と生徒が、斗南藩士と尻屋埼灯台建築との関わりを描いたオリジナルの演劇「証」を創作。2024年11月には、会津若松市で上演することが決定。

※旧斗南藩士の子孫らでつくる「斗南會津会」が2018年から20年にかけて行った調査により、灯台建設に使用されたレンガがむつ市大畑町で作られ、旧藩士が大きな役割を果たしたという説が立証された。その歴史的事実を元に、むつ市大畑町ゆかりの教員と、むつ市で生まれ育った子どもたちが創作した演劇である。



2.調査検証の目標～明らかにしたい仮説

仮説①

灯台利活用の調査検証を行うことで、地域の興味関心が高まり、今後のソフト事業展開案がまとまるとともに、実施体制の基盤が構築できる。

* 尻屋埼灯台に関する調査と、灯台観光について考えるワークショップ、灯台をモチーフにした特産品開発、灯台プチイベントを開催。のべ100人以上を巻き込むとともに、調査結果や成果を広報する。

* これにより、地域の人々の尻屋埼灯台に関する興味関心が高まり、基本計画作成中の観光施設を整備に向けて弾みがつく。

仮説②

動画で尻屋埼灯台をPRできる

* 中学生や地元の人々が出演する、灯台建設エピソードにまつわる動画コンテンツの制作によって、尻屋埼灯台の歴史や、建設当時の人々の想いを伝えることができる。

* 観光客向けの利用はもちろん、地元の子どものための出前授業を通じてシビックプライドを醸成できる。

survey 01

尻屋埼灯台の基礎調査

- ・文献調査（事務局による調査、八戸海上保安部・星野宏和氏に依頼する調査）
- ・現地調査（灯台や、周辺を調査。撮影）
- ・インタビュー（斗南藩士子孫、漁師、海保職員、地元の人々など）
- ・ヒアリング（自治体、ガイドの会など）

※基礎的調査報告書を作成

※調査内容...基礎データ、灯台が設置された経緯、斗南藩士の貢献、周辺の観光スポット、ソフト事業企画運営にあたっての条件・課題等



survey 02

アンケート調査

7月末に実施する「尻屋埼観光モニターツアー」にて、参加者にアンケートを実施する。

※アンケート結果報告書を作成

※調査内容...尻屋埼灯台に関し、観光客のニーズや、可能性、課題について



survey 03

灯台観光を考えるワークショップ

地域コーディネーター小寺翔太氏主導で、夏休みに、小中学生向けのワークショップを開催。大学生に運営サポートを担ってもらう。若者の発想で、尻屋埼灯台を生かした新たな観光企画や、アイデア出しを行う

※ワークショップ報告書を作成



survey 04

灯台の焼き印を押した肉まんを開発

村特産の東通牛（ひがしどおりぎゅう）を使った新商品「尻屋埼灯台焼き印入りの東通牛肉まん」を開発。1月25・26日にサンロード青森で開催された東通村物産展 2025で一般社団法人東通村産業振興公社が東通牛肉まんを販売。



survey 05

動画コンテンツ制作・公開

演劇「証」と、地域の人々の証言、尻屋埼灯台の基礎情報を盛り込んだ動画を制作。地元向けの成果報告会で上映するとともに、DVD化して教育現場で使用するほか、バスツアーのバスの中での上映、斗南藩立藩155周年のイベントで使用予定。



survey 06

灯台利活用事例の視察・ヒアリング

尻屋埼灯台周辺に観光施設を整備するため、今年度より基本計画を作成中。灯台ならびに周辺施設が整備されてある安乗埼灯台、大王埼灯台を先行事例とし、現地調査を実施。



survey 07

灯台ガイドツアーの実施

11月1日の「灯台記念日」に合わせ、灯台を無料見学できる「特別公開」が11月4日に開催。同日ジオガイドによる灯台ガイドツアーを実施。県内から25名の方が参加し、ガイドの話聞きながら灯台の魅力を満喫。



survey 08

成果報告会で発表

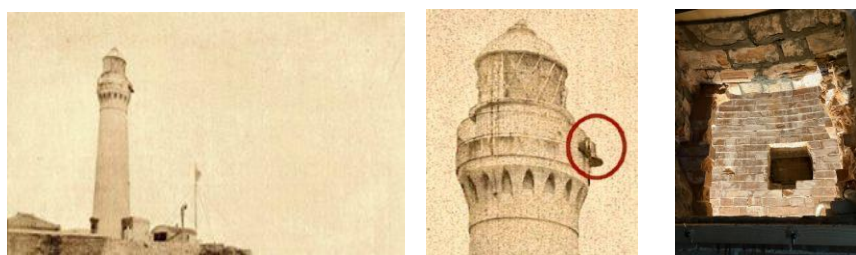
ガイドツアーやワークショップの結果報告、安乗埼灯台および灯台カフェの視察報告、商品開発の試食、動画「証」の上映。



しりやさきとうだい 尻屋埼灯台

基礎 データ 	初点灯	1876（明治9）年10月20日
	灯台の高さ	32.82m（地上～頂部）
	灯りの高さ	45.70m（海面～灯火）
	灯質	単閃白光 毎10秒に1閃光
	光達距離	約34km（18.5海里）
	レンズ	二等フレネルレンズ型
	構造	レンガ造
	形状	塔形
設計者	リチャード・ヘンリー・ブラントン	

設置された経緯



当時、下北地域を中心に領地を治めた斗南藩は、津軽海峡の尻屋埼沖の難所を安全に航行するため、明治4年に尻屋埼灯台建設を提案し、藩財政の再建を目指した。廃藩置県で計画は頓挫したものの、5年後の明治9年にレンガ造りの尻屋埼灯台が完成。灯台のレンガは現在のむつ市大畑町正津川地区で作られていたと伝えられ、斗南藩士が灯台建設に関わったとされています。尻屋埼が霧の発生しやすい海域であることから、日本で初めて船舶に対して音で方向などを知らせる「霧信号」が設置されました。

関係者インタビュー（抜粋）



尻屋埼灯台
ガイド
氣仙 修さん

地質と形成: 尻屋埼の石灰岩はプレートの移動によって形成され、ハワイと繋がる可能性を示唆。地盤は閃緑岩。
漁場としての特徴: 尻屋は親潮と黒潮が交わる漁場で、豊富な魚介類が獲れる。昔は対岸の北海道が見えるほどの景観が広がっていた。
座礁の危険性: 浅い海域が広がり、過去には多くの船が座礁。灯台周辺には慰霊のためのお地蔵様がある。



土地保全会
会長
住吉秀明さん

尻屋地区で古くから部落のまとめ役だった住吉家。来賓が泊まる賓家だったこともあり、江戸時代は伊能忠敬が宿泊した史実が残されている。灯台建設時4～5人ほどの職人が泊まったという。GPSのない時代、灯台はコンパスの役割を果たしていた。今でも海からみた灯台の灯かり6は「家に帰れる」という安心感ある。

斗南藩士が熱望した灯台建 暖流と寒流が出会う場所

明治9年10月20日。

この日初めて、

尻屋崎灯台に

灯りがつきました

この灯台は

当時の人々の

ロマンの結晶なのです

尻屋崎灯台のストーリー

暮らしを豊かにするために、北前船による貿易を盛んにしたい。しかし、尻屋崎沖は「海の墓場」呼ばれるほど航行の難所だった。

船を安全に航行するためには灯台が必要...斗南藩新政府に建設を請願。明治維新の大混乱期中、この地で「生きるため」に灯台建設に尽力した。

時が流れ、150年後の現在。

レンガ造り灯台としては日本一の高さを誇る尻屋崎灯台。年間10万人の観光客が訪れる観光地として人気。128段の階段をのぼると暖流と寒流が出会う海が



観光ガイドの必要性を実感

氣仙修さんによるジオガイドを実施。尻屋崎灯台の歴史や逸話、地域との関わりについて効果的に学ぶことができた。景観を楽しむだけではなく、その背景を学び、灯台の魅力を更に感じる事ができた。

子どもたちが考える、尻屋崎灯台の観光

【イベントの実施】

例) ライトアップ・花火大会・お祭り・近くに泊まれる・王様が泊まる

【新たな機能の追加】

例) 詳しい解説が聞ける・避難場所・携帯の電波を強くする

【周辺に新たなエリアをつくる】

例) お花を植える・かわいい写真スポット・露天風呂・キャンプ場・お店

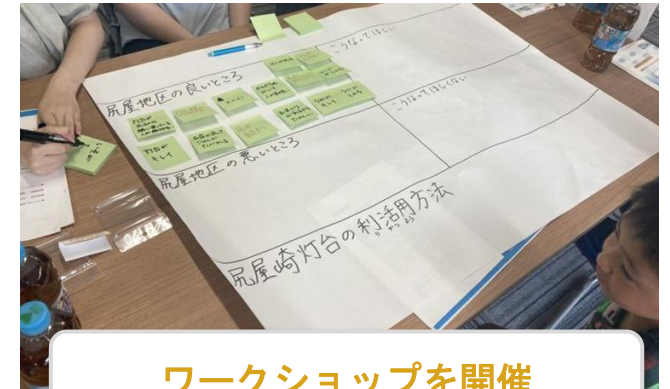
子ども達にとっての尻屋崎灯台

ワークショップを実施したことで、尻屋崎灯台が落書きで汚れてほしくない。無料で登れるようになってほしい。トイレができてほしい。お祭りをしてほしい等、子どもたちのさまざまな願いを知ることができた。



観光モニターツアー客 「灯台に登れるのがいい」

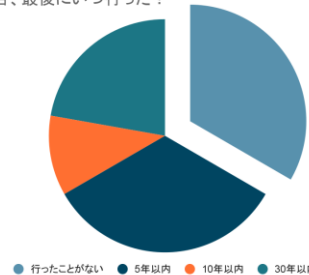
7/29～30の2日間、尻屋崎灯台を紹介するツアーに帯同。実際に灯台に登り、360度見渡せる景色を体感！太平洋側の寒流と日本海の暖流の境界線がわかり感動！下北ジオパークにそびえ立つ尻屋崎灯台を満喫。



ワークショップを開催

灯台のしおりを配布し、紙芝居を用いて灯台の役割と尻屋崎灯台の歴史について説明を行った。ワークショップを実施することで尻屋崎灯台観光について考える機会を提供。

尻屋崎灯台、最後にいつ行った？



地元の人でも、詳しく知らない？ 尻屋崎灯台

ワークショップ参加児童の保護者を対象にアンケートを実施。「尻屋崎灯台について知っているか？」の問いに全員が「少しだけ」と回答。アンケート回答者の30%が「尻屋崎灯台を訪れたことがない」と回答！地元の人でも、意外と知らない...？



【特産品開発】を実施

東通村物産展 2025では、午前10時の開店とともに、多くのお客さまが肉まんを買い求め、各日限定100個の肉まんがお昼の12時半には売り切れるほどの人気だった。

課題

交通の便が悪い、食事処が近くにない、トイレの不足、Wi-Fiが繋がらないなど不便が多い

- ◆尻屋埼灯台は尻屋崎の突端に立っていて、公共交通機関で近くまで行くことが出来ない。
- ◆食事処やお土産屋さんなどがいないため、観光に訪れても滞在時間が短く、新たな観光施策を構築することが出来ない。
- ◆トイレの問題や、携帯電話などが繋がらない場合もあり、不便を感じる人が多い。



施策

東通村では3年計画で村民が観光施設の建設案策定 どんな施設がいいのか検討中

- ◆尻屋観光協会・尻屋土地保全会・尻屋漁協が主体となり、観光施設の建設案を東通村と策定。
- 食事処やカフェ、お土産スペースなどの案が上がっており、三重県志摩市の安乗埼灯台を視察。

課題

モニターツアー参加者から宿泊型のツアーを望む声があったが、宿泊施設が不足している

- ◆「是非村に宿泊したいです!!キャンプツアーなどどうでしょうか?」「宿泊も、懇談会なども全て東通でやってみたいです。」といった感想があったが、東通村の宿泊施設が少なく、工事関係者の長期滞在もあることから、状态的に不足している。



施策

国立公園内に灯台があることから難しい課題

- ◆国立公園ということもあり、すぐに対策することができない状況。
- ◆隣接する市町村の宿泊施設と連携するなど対策が必要。

課題

尻屋埼灯台は天候が変わりやすく、灯台参観不可の場合もイベントの構築にはリスクがある

- ◆風が強く、天候が変わりやすい尻屋埼灯台周辺。モニターツアーでも船に乗って尻屋埼灯台をみるイベントを予定していたが、当日、波が高く中止に。



施策

イベント時は、悪天候に備えた代替案が必要

- ◆イベントは、天候を考えて、2パターン案を考える必要あり。
- 特に海に関わるものは、晴れていても風は強いと波が立ち、船などは乗れないので、その点を考慮する。

課題

尻屋埼灯台の利活用を継続していくために実施体制および資金の獲得が必須である

- ◆現状の実施体制や資金力では、安定的な継続が見込めない。



施策

主体性をもって取り組めるメンバーの巻き込みと協賛金の獲得

- ◆灯台が建つ尻屋地区の活性化に取り組む若者たちを巻き込む
- ◆むつ市中心部から尻屋埼灯台へ向かう道路沿いにある商店や施設を巻き込み、協賛金を獲得する。



2024年8月22日青森テレビ「わっち!!」で放送



2024年8月5日青森テレビ「わっち!!」で放送



2024年7月18日青森テレビ「わっち!!」で放送



イベントレポートがPRIMESで配信



灯台ガイドツアー
特別公開に合わせ実施

2024年11月18日青森テレビ「わっち!!」で放送



2024年11月青森テレビでCM募集告知



2024年12月24日青森テレビ「わっち!!」で放送

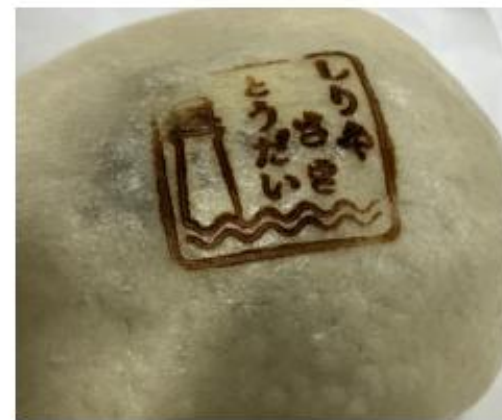
尻屋埼灯台焼き印入り! 「東通牛肉まん」を販売します

2025年1月25日(土)・26日(日) <販売場所: 東通村物産展サンロード青森1階サン>

海と日本プロジェクト広報事務局 2025年1月23日 11時30分



青森県東通村を拠点に活動する尻屋埼灯台活用協議会がこのたび、村特産の東通牛(ひう)を使った新名物「尻屋埼灯台焼き印入りの東通牛肉まん」を開発しました。2025(土)・26日(日)に青森市内で開催される<東通村物産展2025>で、一般社団法人東通が販売いたします。このメニュー開発は、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環と心に地域の海の記憶を掘り起こし、地域と地域、異分野と異業種、日本と世界をつなぐ経験を創造していく「海と灯台プロジェクト」の助成を受けて実施しました。



商品開発レポートがPRIMESで配信

のべ75媒体

調査検証資料

氣仙修さんによるジオガイド

尻屋埼灯台ジオガイド ガイド：氣仙修さん

Part1-尻屋崎はハワイからやってきた？

石灰岩、サンゴ礁の死骸が沈み、圧力がかかることで石灰岩となる。尻屋にサンゴはないが、石灰岩が多い。ハワイからプレートが移動によってここまで来たのだろう。日本からハワイまでは6500キロ。太平洋プレートは1年に約10センチずつ動いている。あと6500万年で日本はハワイに？！

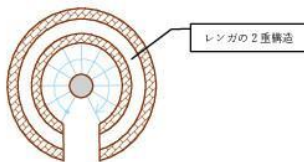
Part2-尻屋埼灯台を支える閃緑岩

灯台が建つ尻屋崎の地盤は、閃緑岩から成っている。閃緑岩は地下深部でゆっくりと冷えて固まることができるもの。灯台石垣部分にも使用されており、薄い緑色が特徴的。灯台を前に右側に立つ記念碑にも閃緑岩は使用され、その頑丈さから彫った文字が風化しにくいという。海に浮かぶように見える岩はチャートと呼ばれ、閃緑岩ではなく石灰岩から成っている。灯台に背を向けて南の方角を見ると、隆起した森が目に入る。この正体は石灰岩であり、高さ400mにも及ぶ。石灰岩は比較的固く、火打石として古くから使用されていた。海底プレートの移動によって、1億年後は尻屋埼灯台がある場所へ、あの森はもっと高い所へ、と氣仙さんは語った。



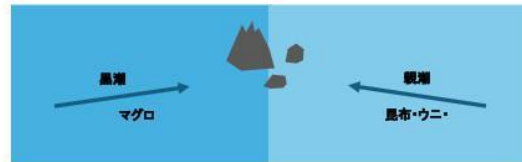
Part3-建築としての尻屋埼灯台

尻屋埼灯台の設計はイギリスの建築家：リチャード・ヘンリー・プラントンが行った。レンガは輸入したものも使用された。当時の日本にはない、レンガの2重構造で、レンガ造りでは日本一高い灯台である。旧斗南藩がレンガが製造や建築に関わった。約3年の施工期間を経て、明治39年に点灯を開始した。高さは32.82m。灯台内の階段は全128段。一段一段の段上が高く、イギリス規格だと言われている。



Part3-漁場としての尻屋崎

灯台の展望台に出ると風が非常に強く、風速は約10m/s。風がないときは、太平洋側と日本海側が一直線に分かれて見えるという。尻屋は太平洋側の親潮(寒流)と日本海側の黒潮(暖流)がぶつかり合う、良好な漁場。親潮が昆布・ウニ。アワビを育み、黒潮がマグロを連れてくる。大昔は対岸(北海道)が見えて、大きな川のようなだった。



Part4-座礁

陸からの確認は難しいが、水深1mほどの浅い海が続いている。海底には岩石が広がっており、北前船が航海していたころ、沿岸を航海するために座礁する船が多かった。座礁によって命を落とされた方も多く、灯台の付近には慰安のためのお地藏様が佇む。海に浮かぶ白いゴールの正体は大根(おね)。大根の外側を通ることで、座礁を防いでいる。近年座礁した船は、解体撤去に6か月の期間を要した。

Part5-石の名産

青森市三内丸山遺跡で石斧が出土、尻屋から持って行った？青森県立郷土館にて所蔵。

Part6-尻屋埼灯台に残る逸話

第二次世界大戦の爆撃によって尻屋埼灯台の3分の2が消滅。当時の灯台守も死去。しかし、しげの時に3分の1しか残っていない灯台に燈がともったと言われている。この話は書物にも残されている。魂で照らしたミステリアスな逸話が残る。

Part7-53万本のローソク

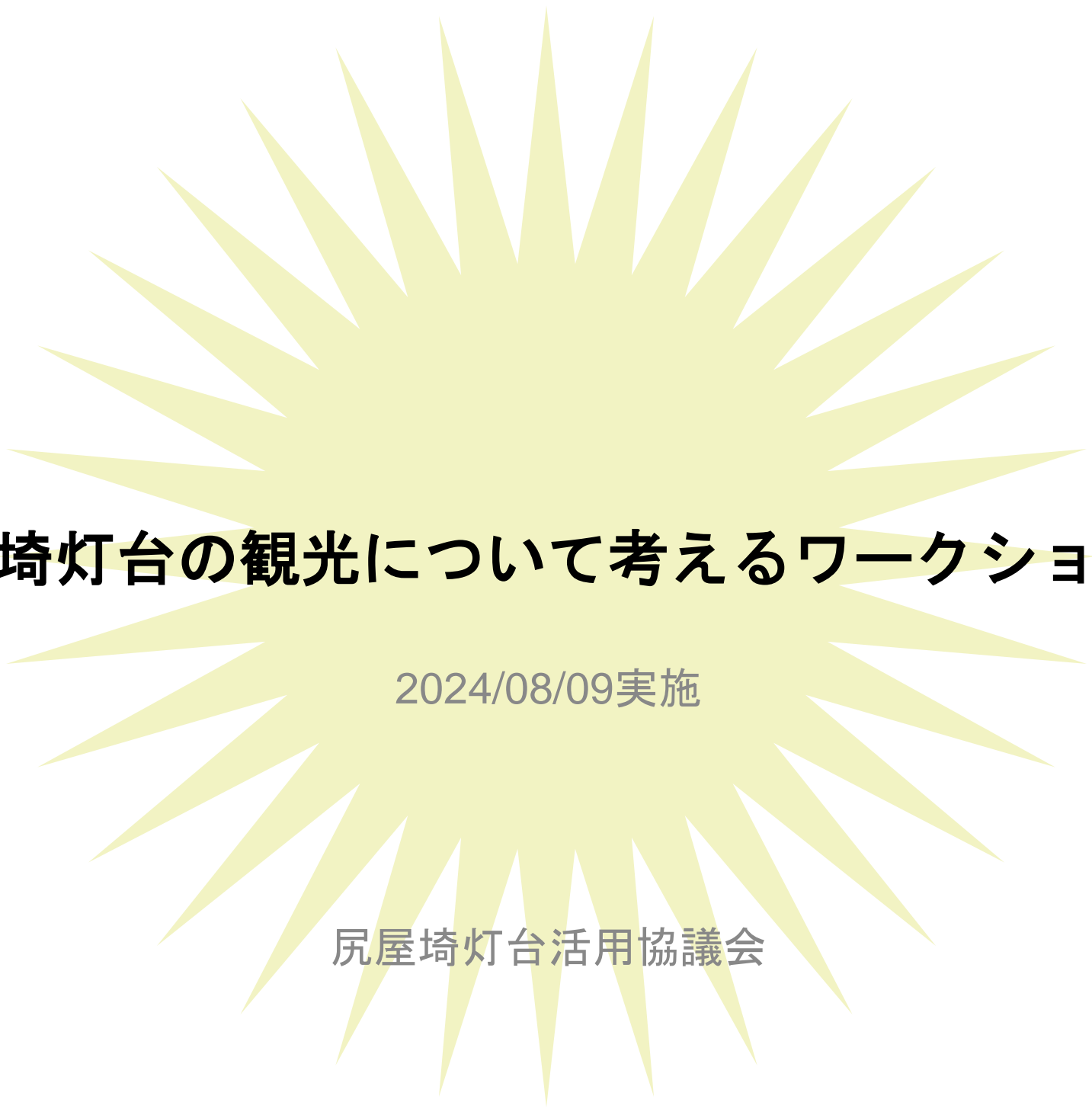
1カンデラ=ローソク1本の明るさ。尻屋埼灯台は53万カンデラ。つまり、ローソク53万本の明るさ。灯台にはそれぞれ燈が一周するまでにかかる時間に違いがあり、尻屋埼灯台は10秒かけて燈が一周する。灯台の燈は非常に強いため、民家を照らすことがないようにレンズを随す工夫がされている。

Part8

尻屋のコンブ漁

持続可能な漁を江戸時代から行っている。その名も「拾いコンブ漁」、江戸時代からの文化で世界でも珍しい。沖に上がった昆布はとらない、波打ち際に上がった昆布を拾う漁。漁業権がないと拾ってはいけないから、要注意。

冠婚葬祭は漁に出てはいけない、長男しか継ぐことができないなどの決まりがあり、取りすぎない、絶やさない、漁業を守る仕組みにもなっている。尻屋だけの特別ルール。



尻屋埼灯台の観光について考えるワークショップ

2024/08/09実施

尻屋埼灯台活用協議会

尻屋埼灯台の観光について考えるワークショップ

日時

- ・ 2024年8月9日(金)10時から12時

場所

- ・ 東通村尻屋 水神の郷

対象

- ・ 現地の小学生 9名

講師

- ・ 小寺将太さん
(一般社団法人tsumugu代表理事・地域創生コーディネーター)
- ・ 青森大学むつキャンパスの皆さん



尻屋埼灯台の観光について考えるワークショップ【しおり】

日本 海と灯台 PROJECT

尻屋埼灯台ってしってる？

尻屋埼灯台ってしってる？

しらない | しってる

聞いたことはある？ | 見たことある？

ない | ある | ない | ある

近くで見たことある？

ない | ある

登ったことある？

ない | ある

灯 台 と お 友 達

尻屋埼灯台とお友達メーター

灯	台	と	お	友	達
---	---	---	---	---	---

もっとなかよくなれるね！ ← → なかよしだね♪

日本 海と灯台 PROJECT

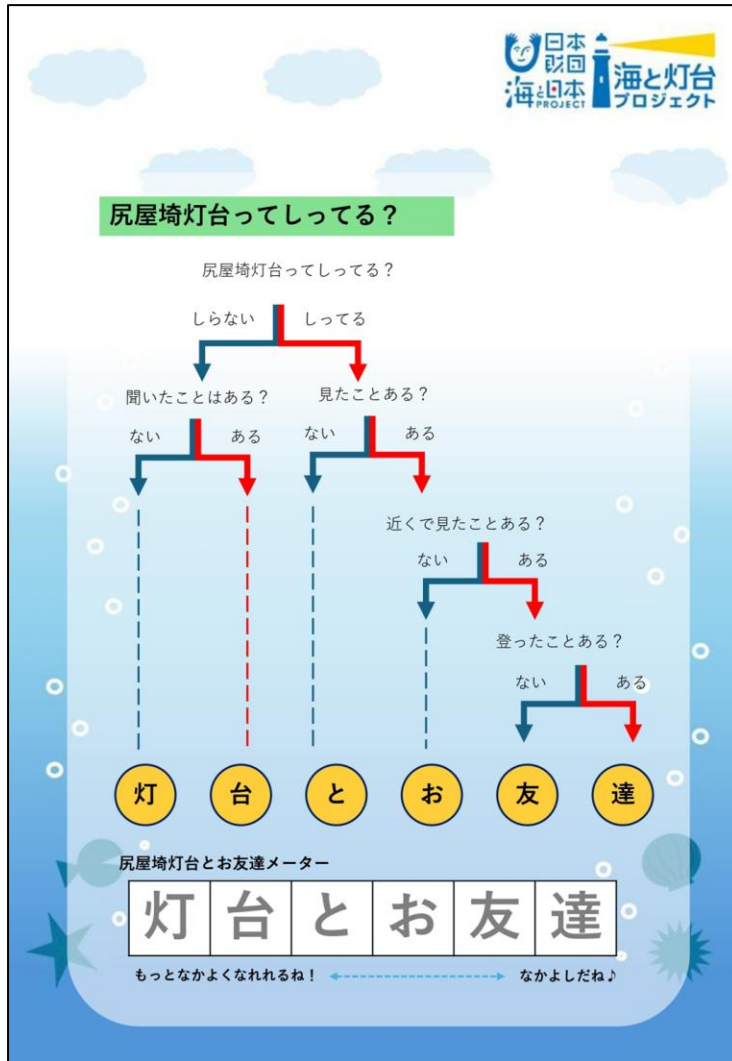
今日考えたこと・気づいたこと

尻屋埼灯台のいいところってどんなところ？

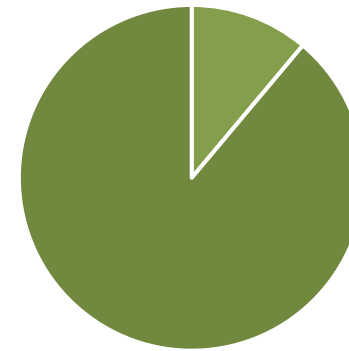
尻屋埼灯台にはどんな観光ツアーがあればいいかな？

みんなの意見はどうだったかな？

尻屋埼灯台の観光について考えるワークショップ【しおり】



灯台となかよしレベル

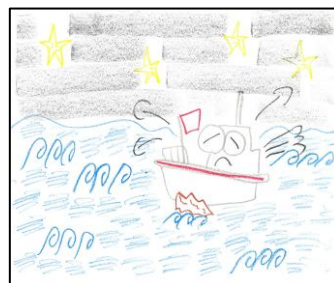
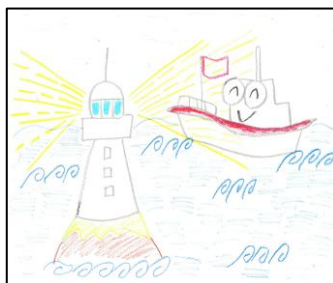


■ 灯 ■ 台 ■ と ■ お ■ 友 ■ 達

尻屋埼灯台での経験をアンケートにて測定。

「灯台とお友達」の6字をメーターに当てはめたところ、
9人中8人の児童が、**灯台に登ったことがある**ことが分かりました。

灯台について【紙芝居】



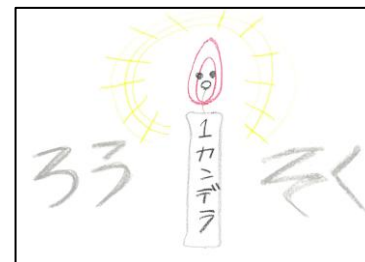
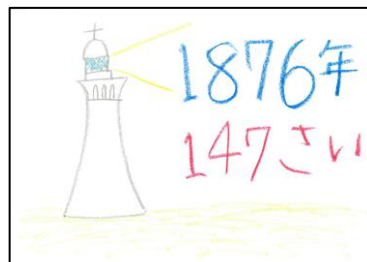
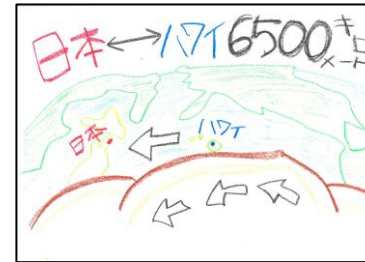
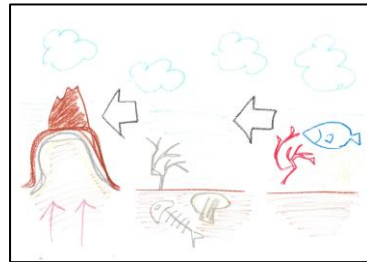
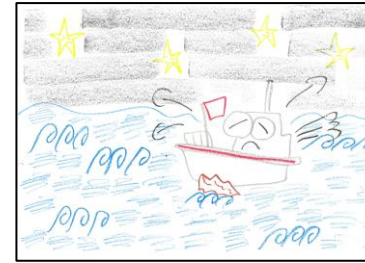
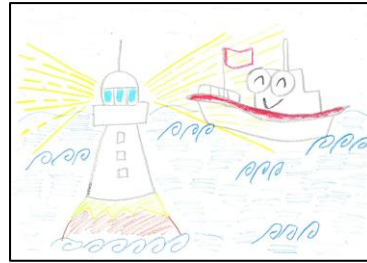
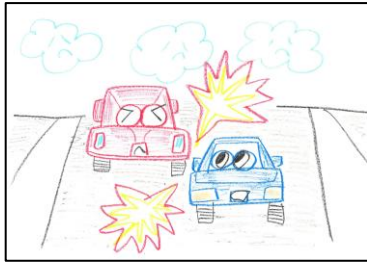
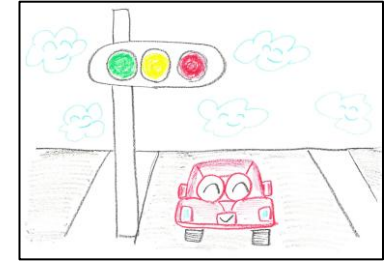
灯台そのものの歴史や働き

尻屋埼灯台の歴史や特徴について

紙芝居を用いて説明しました。

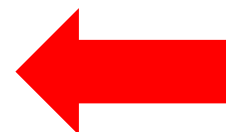


紙芝居



ワークショップの進め方

① 尻屋地区のいいところ	② 尻屋地区のわるいところ
③ こうなってほしくない	④ こうなってほしい
⑤ 尻屋埼灯台の利活用方法	



①いいところ→②わるいところ→③こうならないでほしい→④こうなってほしい→⑤利活用方法 の順で、
テーマごとに付箋に意見を書き出します。

ワークショップの様子



①尻屋のいいところ

海

魚がいっぱい
海がきれい
海の生き物が多い
コンブが取れる
ウニが取れる
磯がある
海がきれい
釣りができる

生き物

虫がたくさん取れる
動物が多い
寒立馬が大きい
寒立馬がいて人が来やすい

灯台

灯台がある
灯台の近くにラーメン屋がある
灯台がきれい
灯台が光るから船に乗っている人が働きやすい
灯台が高いから見えやすい

そのほか

ごみが少ない
祭りが楽しい
お祭りがあるから楽しい
みんな仲が良い
店がある
すごい

自然

自然がたくさん
景色がきれい
緑が多い
木が多い
花が多い
山がある

② 尻屋のわるいところ

海

海で遊べない
魚があまりとれない
海にごみがたくさん
海にごみを捨てる人がいる
海にタイヤや靴のごみがたくさん
海が汚い
海が深いところがある

生き物

野生の生き物がいる
熊がいる
虫がいる
虫が多すぎる
スズメバチがいる
寒立馬の糞がたくさん落ちている

自然

石がごつごつでけがををする
草がいっぱいある
木や葉っぱが多すぎる
半ズボンだと足がチクチクする

そのほか

遊ぶ場所がない
遠いところに遊びに行けなくてつまらない
どこに行くときも遠い
どこに行くのにも遠い
人が少ない
遊ぶ人が少ない
電波がない

③ 尻屋にこうなってほしくない

海

魚が全滅
魚がいなくなる
鮫がいなくなる
海がなくなる
砂浜がなくなる
釣りができなくなる

生き物

緑がなくなる
自然が豊かじゃなくなる

灯台

灯台がつぶれる
灯台に落書き
灯台が汚くなる
灯台に登れなくなる
灯台がなくなる
灯台に近づけなくなる
灯台に熊が来てほしくない
灯台の横のお地蔵さんがなくなる

そのほか

観光客が減る
人がいなくなる
祭りをやらなくなる
ゴミだらけ
店がなくならないでほしい
自販機がなくなる
電波がなくならないでほしい
きしまがなくなる

自然

鳥がいなくなる
馬に合えなくならないでほしい
寒立馬が減ってしまう

④尻屋にこうなってほしい

魚がいっぱい取れてほしい
魚がいっぱいいてほしい
ボート体験

海

寒立馬に触れる
寒立馬のイベントをやってほしい
馬に餌やりをしたい
馬に乗りたい
馬が増えてほしい
不思議な生き物がいっぱいいてほしい
生き物を増やす

生き物

灯台

無料で灯台に登れるようになってほしい
灯台のライトを明るくしてほしい
灯台がもう一戸ほしい
灯台にトイレができてほしい

自然

緑が多いからちょっと減らしてほしい
森が増えてほしい
化石があってほしい
お花が増えてほしい

そのほか

お祭り
祭りのときに屋台ができてほしい
花火大会があってほしい
おみくじができてほしい
鐘を鳴らして願い事を叶える場所
全国に広がる有名な場所
全国からお客さんが来てほしい
人が増えてほしい
人が多くなってほしい
遊ぶ場所が欲しい
使わない家を減らす
店がたくさんあってほしい
もっと店を大きくしてほしい
スーパーが欲しい
イオンモールができてほしい
マエダが欲しい
マエダアリーナができてほしい
ドンキが欲しい
ローソンが欲しい
函鑑屋さんが欲しい
お花屋さんが欲しい
お店があってご飯が食べられる
お寿司屋さんができてほしい
服屋さんが欲しい
髪を切るところが欲しい
尻屋タワーが欲しい
水族館が欲しい
映画館ができてほしい
5階建てマンションを森に建てる
テレビに出てほしい
地震が起きた時に安全なところ
北海道とつながってほしい
公園が欲しい
フルーツを増やす

⑤ 尻屋埼灯台の利活用方法

尻屋埼灯台のライトアップをやってほしい
尻屋埼灯台についての解説を詳しくしてほしい
尻屋埼灯台で花火大会をやってほしい
灯台の上から花火
灯台で祭り
灯台に王様を泊ませる
かわいい写真スポットがほしい
お花をいっぱい植える
尻屋埼灯台の近くに泊まれるイベント
尻屋埼灯台にもっとお店ができてほしい
避難場所
露天風呂
車屋さん
携帯の電波を強くする
キャンプ場を作る
ローソンができてほしい

子どもたちが考える、尻屋埼灯台の観光

【イベントの実施】

例) ライトアップ・花火大会・お祭り・近くに泊まれる・王様が泊まる

【新たな機能の追加】

例) 詳しい解説が聞ける・避難場所・携帯の電波を強くする

【周辺に新たなエリアをつくる】

例) お花を植える・かわいい写真スポット・露天風呂・キャンプ場・お店

ワークショップに同席した 地元尻屋の父兄の皆さんのアンケート

回答5名さま

地元の人たちにとって尻屋埼灯台とは

シンボリックな存在
漁をする人にとっての命綱であり、観光の要
目印
尻屋の象徴
目印。尻屋を説明するとき、尻屋崎って言えばだいたい伝わる。



尻屋埼灯台に登った回数

* 1回2名 * 3回2名

* 5回以上1名



イベントのとき

家族で

散歩がてら

尻屋埼灯台について知っているか

全員が少しだけと回答



全員が

もっと知りたい！と回答

全員が観光地として人気になって
欲しいと回答

歴史あるものだから

過疎地であると共に、年々漁獲量も減っているため観光に力を入れて欲しい

観光客が増えて欲しい

尻屋に活気がほしいから

尻屋の自然を知って欲しい。

どんな観光施設が欲しいですか

遊べるところ

遊べるところ

歴史を学べるコーナー

お食事処

お食事処

尻屋埼 7/29(月)30(火) 宿泊体験プラン 観光モニターツアー

参加
無料

ツアースケジュール

- 【1日目】
 10:00 集合 ゆーと浅虫玄関
 12:00 昼食【東通尻屋漁港バーベキュー・郷土料理・うに体験など】
 14:30 尻屋埼灯台・寒立馬見学
 15:00 砂丘・牛舎見学
 16:00 役場到着
 17:00 村長室訪問
 18:00 ホテルチェックイン〈ホテルニューグリーン〉
 19:00 夕食〈三宝〉
 21:00 中締め

- 【2日目】
 9:00 ホテルチェックアウト
 9:30 乗船
 11:00 いちご・ブルーベリー狩り
 12:30 昼食〈蕎麦処 田や〉
 13:30 レストハウスでお買い物
 14:00 出発
 16:00 解散 ゆーと浅虫



申込はQRコードから
申込締切：7/19(金)



主催：尻屋観光協会 / 共催：東通村商工観光課 / 事務局：(株)青森テレビ
☎017-741-2238 (青森テレビ営業部)



キタムラサキウニやアワビの殻剥きや郷土料理調理体験

地元の漁師さんから直接剥き方を教わり、
お話を聞いてよかった
この特別感を全国的に宣伝できたらいいと思う



ウニやアワビの美味しさにびっくり！
アワビのフライが肉厚で美味しかった

漁港でバーベキューが
贅沢で竜宮城みたい

漁港でバーベキュー体験



高級食材で
美味しい

灯台参観、体験・観光地を巡る

収穫体験



寒立馬は必須



灯台に登れるのがいい



絶景



美味しい蕎麦



日本
財団
海と日本
PROJECT

海と灯台
プロジェクト

参加したいと思った理由を教えてください。

前回行った人からとても良かったと聞いたので
大好きな東通村だから！

行ったことない場所に興味があったから

一度行ったことのある東通村ですが、寒立馬、灯台以外に行ったことが
なかったので興味がありました。

お誘い頂いた吉田さんに、どんな内容か聞いたら、飲んで食べてまただ
飲んで、みたいな感じとしか聞いてなく、面白そうと思ったから

東通村に宿泊してみたかったのです。

前回、冬のイベントの時に参加できなかったもので、次回はぜひ参加した
いと思っていました。体験型のイベントが好きなので、とても楽しみに
していました。

同じ県内であっても、なかなか行けない

以前より東通村のお米を使っているのです、他にも東通村のことを知りた
いと思い参加しました。

以前尻屋埼灯台に訪れた ことはありましたか	あると答えた人はいつ頃ですか
ない	
ある	2023.12月
ない	
ある	3年くらい前
ない	
ある	ここ10ねんで3回くらい。
ある	5.6年前
ある	15年から20年くらい前だと思う
ある	30年くらい前

尻屋埼灯台の印象について教えてください

眺めが良いのはもちろんのこと、レンガ造りの構造も素敵でした。

夜のライトアップがとても綺麗だった！

異国に来たかのような印象
重要文化財に触れられて感動した

日本唯一、や、最大、など、貴重な灯台というイメージ。

地元の漁師さんや、役所の人たちが、とても優しい。

美しい。

灯台から見る景色の美しさに感動しました。

日本に数少ない灯台でレンガ作り。漁業関係者には目印だったり、見守ってくれてるのでは。

灯台に登れるのは良いと思いました。青森県にも灯台があるって良いと思いました。

尻屋崎灯台にたくさんの観光客を呼ぶには。

灯台フェスなど、景色プラスアルファなイベント開催

送迎車(バス)

○1つメインになるような、夏であれば、尻屋崎灯台ソフトクリーム、寒立馬クレープなど、若い人でも興味を持つようなお店を作る。

○海がとっても綺麗なので、海のところまで降りて行ける道の整備やここから撮ると、海も灯台も映るなど、映える場所を作る。

お土産やグルメはやはり必須だと思います。駿馬丸についても、灯台周辺でもう少しアピールしても良いのでは、と。そしてレンズがとても貴重な事も、灯台から見える海が2つの海流がぶつかる貴重な場所な事も知らなかったなので、そこももっと打ち出したらいいのではないのでしょうか。

トイレがあつたらいい。漁師さんたちが、ウニとアワビの捌き方を教えてくれて体験させて貰える事を、全国的に宣伝したらいいと思った。

シャトルバスなど、交通の利便性。飲食店や宿泊施設が近くにあること。

登れる灯台は16しかない、レンガ造りでは日本一高い、もうあの大きさのガラスレンズは作れないことなどを、もっとPRできると、希少価値が上がると思います。トイレ、観光施設（お土産等）があるといいです。

交通アクセス、例えばシャトルバスやツアーなどの企画だったり。トイレが観光場所などになく、あっても昔のボットトイレでは、小さい子供は無理だと思うし、鍵がかからないという場所もあった。尻屋崎灯台は日本に数少ない灯台の一つであることの周知。

灯台の周りに休憩所のような場所があっても良いのではと思います。

尻屋崎の食材について感想

新鮮な魚介類が本当に美味しかった。

郷土料理のいちご煮や鮑のフライなど、初めて食べるものばかりで、本当に美味しく感動。

すごい！素晴らしい！に尽きます。今までどこで食べたものより、肉も海産物も美味しかったです！特に海産物に関しては感激でした。うにも鮑も尻屋崎じゃなくても採れますが、全然違います！味、大きさも素晴らしかったです。あの鮑の肉厚さ、やわらかさは初めてでした。本物のいちご煮もいただきましたが菜っ葉が入るのも初めてでした！うに醬も初めてでしたが、あれをかけるだけでなんでもご馳走に変わりますね！卵かけご飯、お豆腐、シンプルな料理がご馳走になります。そして、山椒味噌。フルーティで爽やかで、感動しました！ぜひこちらも商品化していただきたいです！

魚介、肉類、すべて新鮮で美味しかった。

最高です。が、ブルーベリーなど、比較的どこでも収穫出来る食材は付加価値がつけにくいと思いました。

海産物、牛肉、蕎麦も、思うところは色々ありますが、書き切れないので、次回伺った時にでもお話出来れば幸いです。

何もかもが美味しすぎました。アワビ、ウニ、イカ、東通牛、蕎麦、キクラゲ。それ以外も、今回のツアーで口にしたもの、すべてが美味しかったです。アワビの柔らかさに感動しました。

海の恵から得られる食材は極上。鮑のフライや天ぷらは、自分のお金ではなかなか買えない高級品

ウニ、アワビ、東通牛と高級食材が多く、また味が濃厚で美味しかったです。またお蕎麦も美味しかったです。

尻屋崎の食材について感想

鮑が大好きですが、今回フライは初めてで鮑の調理法で1番感動したメニューです。地元での食べ方をもっと知りたいし参考にしたいです。あとは、漁港でお祭りをするのも素敵だと思います。その日採れたものを色々な種類カゴにまとめて一山で販売して、焼いて食べたい人はすぐ焼いて食べれる、など。

漁が終わり落ち着いてきた時間帯に、漁港に気軽に遊びに行ける環境があれば素敵ではないでしょうか。もちろん毎日ではなく、週末の数時間限定、とか。

地元のお母さんにも気軽に調理法を聞けるようにスタッフとして配置したり。

いちご煮（缶詰とは全く違うから）

アワビのフライ。

海の幸でも山の幸でも、素材がいいので名物になると思います。ただ、その場で食べられる飲食店がないと、なかなか難しいかと。買って帰ってから調理するよりは、そこに行って美味しいものを食べることを目的に訪れる人が多いのでは？特に旅行者だと、「送る」しか方法がないので、送料を考えると躊躇することもあるかと思います。（先日、小田原観光をした時に、干物を食べたかったけれどその場で食べられる飲食店がなく、干物はたくさん売っていてお安く魅力的だけれど、旅行最終日ではないので買って帰れず、クール宅急便で送るほどでもなくて、結局干物が食べられなかったという経験アリ）

まずは、食べる事のできる施設（お店）が必要。新鮮な食材なので、シンプルに刺身定食やウニ丼。東通牛でのステーキやしゃぶしゃぶ、すき焼きで良いと思う。イタリアンやフレンチなら、専門職の人が作った所に食べに行けばいい。

印象に残ったイベントは？

どれも素敵でしたが、漁協見学。
ブルーベリー狩り体験

ブルーベリー狩り

東通尻屋漁港BBQ

漁師さん、地元の方とのBBQです。

ウニ、アワビの捌き方体験と、その後のバーベキュー

漁師さん、役場の職員の皆様と、ビジター目線でお話出来た全ての時間です。

どのイベントも素晴らしく印象に残っていますが、特に漁港でのBBQが何から何まで美味しくて贅沢で、竜宮城にいる気分になりました。ありがとうございました。

なんといってもBBQ

漁港でのバーベキュー

次はどんなツアーがいいですか

モニターツアー参加者による東通村プレゼン大会！

漁船に乗って朝一緒に海に出る、地元の人達との交流、お年寄りから昔の話を聞く、伝統の物を作ったり体験したりする。

是非村に宿泊したいです！！キャンプツアーなどどうでしょうか？

首都圏の料理研究家やシェフを招いて、即興で一緒に調理する企画。なんなら手配したいくらいです。

能舞を観てみたいです。家系ごとに役割が違う等、聞かなきゃわからない面白い話がたくさん聞けましたが、実際の能舞を解説付きで観てみたいです。

温泉に入りながら、東通村の食材を楽しむ

宿泊も、懇談会なども全て東通でやってみたいです。また船にも乗ってみたいです。

観光モニターツアー同行 総括

ブランディング … 灯台の希少価値をPR

のぼれる灯台を生かしたツアー 海流が交わる場所 贅沢食材

東通村の特徴を生かし、その場で食べられる商品の開発

寒立馬クレープ、灯台ソフト など

魚介類の炭焼き （宮島の牡蠣のようなブランディング化）

観光施設(買い物・飲食・トイレ)の必要性

交通アクセスをどうするか

旅行客観光調査

- ・ 調査日時
 - 2024年9月28日(土)14時頃
- ・ 天気
 - 快晴
- ・ 調査方法
 - インタビュー法
- ・ 調査内容
 - 住所
 - 尻屋崎灯台までの移動手段
 - 尻屋崎灯台への印象
 - 尻屋崎灯台へ望むもの



旅行客観光調査

回答①

- 住所
札幌 仕事で六ヶ所村へ
- 尻屋埼灯台までの移動手段
自家用車
- 尻屋埼灯台への印象
綺麗。
- 尻屋埼灯台へ望むもの
特になし。

旅行客観光調査

回答②

- 住所
所沢 青森市に帰省中
- 尻屋埼灯台までの移動手段
バイク
- 尻屋埼灯台への印象
綺麗。
- 尻屋埼灯台へ望むもの
寒立馬を見に来たが、いなくて残念。

旅行客観光調査

回答③

- 住所

宮城 大人の休日倶楽部で函館に行く途中

- 尻屋埼灯台までの移動手段

電車&レンタカー

- 尻屋埼灯台への印象

いいところ。沖縄の水色の海とはまた違って、濃い青色が綺麗。

- 尻屋埼灯台へ望むもの

自然が一番。このままでいい。ただ、お食事処がなく、むつまで行かないといけないのが残念。尻屋で食べられるところがあれば嬉しい。寒立馬がいなくて残念。

旅行客観光調査

回答④

- 住所

大間 家族3人で

- 尻屋埼灯台までの移動手段

自家用車

- 尻屋埼灯台への印象

初めて灯台に登りました。楽しかったです。

- 尻屋埼灯台へ望むもの

寒立馬を見に来ましたが、いませんね。

旅行客観光調査

回答⑤

- 住所

神奈川 大人の休日倶楽部で旅行中

- 尻屋埼灯台までの移動手段

電車&レンタカー

- 尻屋埼灯台への印象

龍飛埼灯台にも行ったことがあります。こちらは登れて楽しかったです。景色もとてもきれいですね。

- 尻屋埼灯台へ望むもの

特にありませんが、展望台まで登ったとき、見える陸地がどこなのか書いてあるプレートなんかがあるといいですよ。

旅行客観光調査

回答⑥

- 住所
むつ

- 尻屋埼灯台までの移動手段
自家用車

- 尻屋埼灯台への印象

学生時代は遠足でよく来ました。最近はドライブで良く来ます。

- 尻屋埼灯台へ望むもの

食事処がないのであると嬉しい。寒立馬を見に来たが、いないですね。

旅行客観光調査

調査結果

- ・ 尻屋埼灯台へは県内のみならず、県外各地から観光客が訪れている。その多くが「寒立馬を見に来た」と回答しており、寒立馬の観光資源としての能力の高さが伺えた。
- ・ 尻屋埼灯台からの景色や尻屋埼灯台の美しさに驚きの声上がる一方で、食事処やトイレを増やして欲しい、展望台からの景色を解説するプレートが欲しい、等の要望が上がった。



* 灯台ガイドツアー
(29名の応募)
午前 12名
午後 13名

* 特別参観 235名
* 灯台クイズ30名



灯台ガイドツアーを実施！ガイドの必要性を調査



風が強いので声がなかなか届かない

きれいな海辺に多くの漂流ゴミ！



ガイドツアー 総括

尻屋埼灯台&ジオ 現地ガイドの必要性

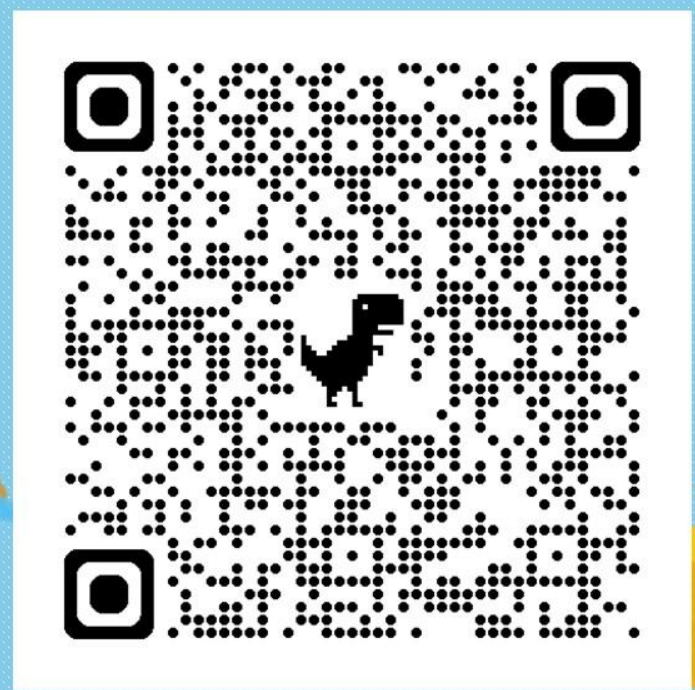
景色を見るだけではなく、灯台の歴史やジオパークについても学ぶことが出来てよかったという声

ゴミ拾いを通して、ゴミの多さ、海の大切さを再確認

灯台の壁にクイズを貼ったが、上るのが大変で参加する人が少なかった



尻屋埼灯台 クイズ



尻屋埼灯台クイズ

QRコードで読み取りスマホ簡単応募！答えてくれた方の中から抽選で尻屋埼で採れたこちらの商品をプレゼント！

★尻屋産ウニ瓶2本セット【2名様】 ★乾物セット（昆布など）【2名様】

- ① 尻屋埼灯台の上までのぼる階段は何段？
- ② 尻屋埼灯台は何で造られているでしょう？
- ③ 尻屋埼灯台は、初めて灯りがついてから2026年に〇周年を迎えます。
〇に入る数字は？
- ④ 尻屋埼灯台は下北ジオパークの尻屋埼エリアにあります。
尻屋埼灯台の土台を支えるのは、なんという石でしょう？
- ⑤ 「海と灯台プロジェクト」及び「燈の守り人」プロジェクトでは、各地の灯台の魅力を伝える灯台を擬人化したキャラクターを製作しています。
尻屋埼灯台のキャラクターは何という名前でしょうか。



【商品開発】尻屋埼灯台肉まんについて



尻屋埼灯台肉まん開発の経緯

なぜ肉まんなのか

新たな観光資源となりうる商品と考えたとき、

- ① イベントの際の食べ歩き需要にフィットする
- ② 冷凍保存等で長期保存が可能
- ③ 村内の食材を使用できる
- ④ いずれお取り寄せ需要にも対応できる

商品考えた結果肉まんにたどり着きました。

片手で食べられて手が汚れず、比較的手ごろな価格で購入可能な商品となっております。

加えて、東通牛ひき肉と村内産のマコモダケを使用し、村内の食材のPRの一助となることを目指しています。

新商品企画書

作成日：令和6年10月28日
所属：農産物加工センター
担当者：主査 高畑美穂

商品名(タイトル)	尻屋埼灯台肉まん(牛肉とマコモダケ)
企画背景	東通牛には牛丼、煮込みハンバーグ、牛そばろ等家庭で和牛の味を楽しめる商品がありますが、家庭の枠を越え、イベントや東通村に来た際に現地で手に取って食べられる牛串やフランクに続く商品として、豊潤な肉汁と食べ応えのある肉をもちもちの皮に閉じ込めた肉まんを開発企画することとしました。イベントなどでも味わうことができ、冷凍での販売や発送も視野に入れ展開することを想定しています。また、2024年度海と灯台プロジェクトにおける新たな灯台利活用事業(※事業実施主体：株式会社青森放送)に尻屋埼灯台での事業計画が採択されたことにより、産業振興公社とタイアップした新商品開発を進めていく必要があり、食べ歩き等のイベント需要と店頭、通販販売での需要どちらも満たせる肉まんの開発を進める方針となりました。海と灯台プロジェクトで企画する商品では、東通牛100%のあらびきのひき肉のほか、東通村で採れる農産物としてマコモダケを使用し、食感も楽しい一品に仕上げることが目標に据えて開発を行っていきます。
商品イメージ	 <p>↑ 遊・怒・West(https://yuyu-west.com/gourmet/post_id=12601/)より</p>  <p>↑ 飛騨牛一頭家(https://tsuhan.bakuroichidai.co.jp/products/detail/48)より</p>

ターゲット	・年齢層：20～50代 ・ギフトやお土産品の発送などを検討する機会があり、イベント目的での旅行や遠出ができる体力がある年代の方へ(食べ歩き目的の層への需要)
コンセプト	・普段頑張っている自分へご褒美をあげたいけれど、良い牛肉をたくさんは食べられない……に広がるブランド和牛のリッチな肉まん ・電子レンジで調理可能。片手で手軽に東通牛を味わえる。蒸し器でふかして食べるとさらにおいしい ・冷凍状態での発送対応と、屋外等のイベントでの食べ歩き需要にも対応。海と灯台プロジェクトでの企画なので、灯台を見ながら手を汚さず食べられる
規格	・販売形態…バラ個包装、イベント時は温のながらその場で食べる用として販売を検討 ・1個当たりの重さ、大きさ等は試作を通して決定する。(1個あたり80g～100g程度で検討)
開発体制	基本的に農産物加工センター内での製造を主軸に試作・開発する ・東通牛の食感を残すため、あらびきの東通牛100%のひき肉を使用 ・中華まんのスタンダードな味付けで開発する ・加熱後冷凍での販売を想定しており、電子レンジの再加熱ですぐに食べられるように開発を進める。包装資材等も検討していく ・海と灯台プロジェクトとわかりやすいように灯台の焼き印を押し、焼き印の大きさは20mm×20mm～25mm×25mm
コスト	試作をしながら検証する 材料費の他、人件費、資材費、手数料等発生
レシピ・材料	別紙参照
販売価格	試作をしながら検証する 目安としては1個あたり400～500円程度での販売を想定
販売開始日	未定。2024年12月中旬に中間報告会時に試食会(振る舞い)予定、2025年1月にサンロード青森での物産展があれば初回販売になるものと思われる(※例年開催はされているが、2025年の物産展開催の予定は2024年10月末現在では未定)
販売開始日以降の販売計画(販路展開等)	①直接販売の場合……県内、村内のイベントとレストハウス、プチマート等での販売から開始する。冷凍で個包装か2～3個包装の袋入りの形態で検討 ②通販、発送の場合……イベントでの直接販売を開始した後、ネット通販での販売を検討。(※いま現在通販サイトが存在しない為、サイトの作成から検討を進める)
備考	

←↑発案当初に作成した新商品企画書

出来上がった商品について

• 皮

中力粉に牛乳、ドライイーストを加えて40～1時間ほど捏ね、ほのかな甘みのあるモチモチの生地に仕上げています。肉を引き立てるためのふわふわのはかない生地にする案もありましたが、東通牛は肉汁が多く、皮に染み出して見た目と食べやすさを損ねてしまうため、肉汁に負けず肉の味に霞まない生地を採用しました。

• 具

東通牛ひき肉の粗挽きを100%使用している他、様々な食感を楽しめるようにネギ、干しシイタケ、マコモダケを混ぜ込んでいます。マコモダケは東通村内で1件の農家で生産しており、夏から11月初旬までの間に収穫されたものを新鮮なうちに真空冷凍保存しています。

味は醤油、しょうが、オイスターソース、胡椒、黒糖でシンプルな味付ですが、牛肉の威力が強いので、中だるみせず、インパクトも感じて頂けるように胡椒を多めに投入してピリッとした大人向けの味付けとなっています。



↑中間報告会での試作品に焼き印を押したものの



完成品

試作について

今回の「尻屋崎灯台肉まん」では、4回の試作と試食を実施し、具材、皮、味付の選定を行いました。

また、皮と具材の比率も検討し、2024年12月のイベント販売時は皮70g、具50g 総重量120g (販売価格は500円)の一般サイズより大きめの肉まんが初お目見えする形となりました。



↑第1回試作

饅頭の形状が決まっておらず、何パターンか試作。皮への肉汁の染み出し等が課題となった。また、このときはハンバーグの肉ダネとネギのみで作成したため、牛肉の旨味は強くはなく、胡椒も控えめでインパクトには欠ける仕上げありに。



↑試食の様子

←第2回試作

中身が決定し、形状も安定していたが、スチームコンベクションの設定を間違えこんがり焼けた様子。試食の結果、これはこれで美味しいとのことで商品化の検討がされたが、作り直した結果廃案となった。

←第4回試作

形状、具材、比率等がほぼ決定した状態。結果、胡椒の量を若干調整して販売することに。



初回の販売を終えての所感

2025年1月25～26日に青森市で開催された東通村物産展で初お目見えになった当商品ですが、ありがたいことに非常に多くのお客様に手に取ってもらえる結果となりました。多くのお客さまに手に取って頂いた要因として、

- ① 広報活動を積極的に行ったこと
- ② 1個500円の価格設定
- ③ 1日100個限定の個数設定
- ④ 季節が冬だったこと



東通村物産展 2025
1/25・26 日 会場 サンロード青森1階サンホール
かんだちくんとジャンケン大会
両日10:30より開催!
東通村の特産品をゲットできるかも!?
たべもの工房 来美里 「ちよっとリッチなお弁当」
東通村の美味しいをちよっとずいたく贅沢なお弁当です。東通村の食材と郷土を知り尽くした来美里(こびり)様にて制作したお弁当を是非ご賞味ください。
両日ともに12時～19時 前入座1個まで 2,000円 30分
東通牛肉まん
東通牛粗挽き肉をたっぷり使った特製肉まんです。 毎日100個 限定販売
国の重要無形民俗文化財指定 「下北の能舞」初★公演
公演日時:1/26(日)14時(予定)
能舞は、中世より伝わる修験道であり、東通村各地に昔からの形のまま受け継がれている民俗芸能です。今宵サンロード青森にて初公演いたします。なかなか見られない強力拠点の郷土芸能をご堪能ください。
■公演団体 武勇舞団

以上の4つが大きかったと考えています。
販売を終えて、今後の展望と課題を検討していきます。



今後の展望と課題

展望

- ・その場ですぐ食べられるようにふかしながらの販売はイベントや催事限定
- ・他、冷凍で1～3個を袋に包装した状態でのイベント販売、実店舗での販売のほか、ネット通販での取り寄せ販売に対応。
- ・販売時期は秋～春にかけての気温が低い時期をメインに検討
- ・夏期の販売は要検討



←販売の際に実際使用したものと同型の肉まんスチーマー。一度にふかせるのは最大で35個程度。

課題

- ・現時点での生産力がごくごく限定的
 - 現時点での製造人数1名
- ・材料(マコモダケ)の確保と収穫時期
 - 夏～秋にかけてなので材料が確保できない時期が発生する懸念
- ・通販環境の整備、対応方法の検討
- ・イベント時の提供方法
 - 今ある肉まんスチーマーでは一度にふかせるのは35個程度で、冷凍の状態からふかすと提供まで1時間程度。
 - 販売個数の予測等、分析と検討が必要。

歴史的価値が高い尻屋埼灯台

斗南藩との関わり
様々な記録や発見



記録に残しておきたい…

この動画は、今後教育の現場で使用するほか、観光バスツアーのバスの中で上映、斗南藩立藩155周年のイベントでも上映される予定となっています。

安乗埼灯台・大王埼灯台視察報告

令和7年2月20日
東通村商工観光課



1. 安乗埼灯台・大王埼灯台視察概要

- 尻屋埼灯台周辺に観光施設を整備するため、今年度より基本計画を作成中。
- 灯台ならびに周辺施設が整備されてある安乗埼灯台、大王埼灯台を先行事例とし、現地調査を実施。

(1) 視察日程

令和6年11月27日（木） 安乗埼灯台、大王埼灯台視察（前入り、後泊の2泊3日）

(2) 視察メンバー

	所属	氏名
尻屋観光協会	会長	梶谷 一心
	副会長	申賀 永
	副会長	三國 邦博
	事務局長	川向 勉
(株) 青森テレビ	営業部営業局 担当部長	伊織 光
	営業部営業局	島元 萌々子
東通村	商工観光課 課長	石田 義宏
	商工観光課 GL	相馬 和史
	商工観光課 主査	大久保 美里
	商工観光課 主査	松本 知也



2. 各灯台概要

■ 今回視察した2つの灯台はコンクリート造であり、通年で参観を実施。

灯台			
高さ	12.70m	22.50m	32.82m
段数	42段	82段	128段
点灯日	1873年(明治6)4月1日	1927年(昭和2)10月5日	1876年(明治9)10月20日
構造	コンクリート造	コンクリート造	レンガ造
認定一覧	<ul style="list-style-type: none">日本の灯台50選のぼれる灯台16国の登録有形文化財（建造物）	<ul style="list-style-type: none">日本の灯台50選のぼれる灯台16	<ul style="list-style-type: none">日本の灯台50選のぼれる灯台16国の重要文化財（建造物）
参観日	通年	通年	4月下旬～11月上旬

3. 商業施設について（安乗埼灯台）

施設名	きんこ芋工房 上田商店
営業開始	2019年（令和元年）4月
内容	カフェ飲食店（土産屋、トイレ併設）
営業時間	9:30～16:00（年中無休）
来場者	年間のべ5万人以上

（1）建物について（ハード面）

- 灯台から徒歩1分程度であり、好アクセス
- 大きなガラス張りで、カフェから見える灯台と海の景色が良く映える
- イベントスペースあり（灯台フェス等開催）

- 建物から尻屋埼灯台や海が見晴らすことができるのが理想か。（飛来物等からの耐久性も課題）
- 天候が優れない日の多い尻屋だからこそ、室内でイベントができるような構造も良いか。

（2）商品等について（ソフト面）

* 古くから志摩地域に根付いてきた伝統食

- 「上田商店」は、伊勢志摩の干し芋「きんこ芋・ぎんこ芋*」とお芋を使ったスイーツ専門店
- プレミアムパフェ（きんこ芋使用）がイチ押し商品の他、伊勢市人気の珈琲店にて特別焙煎した珈琲提供
- お土産も「きんこ芋」を使用したプリンや最中、チップス等の商品が陳列

- 尻屋をはじめとした東通村・下北半島の食材等を原料とした商品が必要か。
- 観光客、現地双方から「灯台に行ったら〇〇を食べれば良い」と言われるような商品開発が必要か。
- 中高年向けの商品も考慮する必要あり（下北半島への観光客の年齢層を考慮）



4. 資料施設について

<p>施設名</p>	  <p>安乗埼灯台資料館</p>	  <p>大王埼灯台ミュージアム</p>
<p>営業時間</p>	<p>9:00～16:00（年中無休）</p>	
<p>ハード面</p>	<ul style="list-style-type: none"> 灯台から徒歩 1 分程度であり、好アクセス 建替前灯台がモチーフなのか、天井が高い 建築から30年経過し、老朽化が目立つ 	
<p>ソフト面</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安乗埼灯台を中心とした、灯台の歴史について展示 灯台守一覧が掲載 一部破損し閲覧できない箇所あり 	<ul style="list-style-type: none"> 大王埼灯台を中心とした、灯台の歴史について展示 絵描きのまちであり、灯台の絵が多く展示
<p>共通の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「大」王埼灯台・「安」乗埼灯台ふたつの灯台をめぐることで、大安御朱印の受取可能 ノートが置いてあり、訪問者の思い出が綴られていた（昭和からありました） 	

- 持続性（管理のしやすさや普遍さ）が担保されるような建物づくり（常設、特別展スペース確保等）
- 尻屋埼灯台が地域とどのように関わっているのか、その深堀り
- 観光客のみならず、地元にも親しまれるような環境づくり

おわり

